

6

重点整備地区の基本方針

6.1 重点整備地区の将来像

<p>【地区の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">・ JR香芝駅・近鉄下田駅は近接しており、相互乗り換えが可能な距離にあります。・ 市役所、文化センター、福祉センター、中央公民館、郵便局、警察署などの行政・文化・福祉施設が集積しています。・ 近鉄五位堂駅は、市域を超えた広域駅勢圏を抱える本市最大の旅客施設となっています。 <p>など</p>	<p>【都市計画上の位置付け】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 都市拠点 本市の中心核を形成し中心市街地となっているJR香芝駅及び近鉄下田駅周辺においては、歴史遺産などの活用により、ゆとりと落ち着きのある暮らし拠点を形成するとともに、水と緑のネットワークの形成や安心・安全に過ごせるまちづくりを推進する拠点として位置づけられています。また、市役所周辺には、公共施設が集積しており、今後も行政、文化、福祉、商業などの機能の集積を進め、市民生活のサービスの充実と利便性の向上を図る拠点として位置づけられています。・ にぎわい拠点 近鉄五位堂駅周辺においては、商業・業務施設などの誘導・集積によりにぎわいのある暮らし拠点を形成するとともに、道路基盤の形成や安心・安全に過ごせるまちづくりを推進する拠点として位置づけられています。 <p>など</p>
--	---



【地区の将来像】

すべての人が安心して快適に移動・活動できる
「かしば交流・にぎわい拠点」

本市の中心市街地となっており、都市拠点と位置づけられているJR香芝駅・近鉄下田駅周辺及び市役所などの公共施設が集積する地域、商業の集積を図り、にぎわい拠点と位置づけられる近鉄五位堂駅周辺地域までをエリアとする本地区では、行政、文化、福祉、医療、商業などの都市としての中枢機能を担うとともに、訪れるすべての人が安心して快適に移動・活動できる香芝市の交流・にぎわいの拠点としてふさわしいまちづくりを進めます。

【地区の基本方針】

- ① 快適な歩行空間のネットワーク化
- ② 公共交通の利便性の向上とバリアフリー化の推進
- ③ にぎわいと魅力あるまちづくり

6.2 重点整備地区の基本方針

① 快適な歩行空間のネットワーク化

子どもや高齢者、障がい者などが歩きやすく、ベビーカーや車いす、自転車などが通行しやすい道路環境を形成するため、歩道幅員の確保、歩道の段差や傾斜の解消、誘導用ブロックの整備など、すべての人が安心して快適に通行できるユニバーサルデザインを採り入れた歩行空間づくりを進めるとともに、歩道のネットワーク化による回遊性のあるまちづくりを目指します。

② 公共交通の利便性の向上とバリアフリー化の推進

重点整備地区においては、鉄道駅から主要施設間をだれもが安全で便利に移動できるよう徒歩だけでなくバスやタクシーなどの公共交通を用いた移動手段の確保が必要となります。このため、今後到来する超高齢化社会に向けて、ノンステップバスや福祉タクシーの導入など、だれもが利用しやすい公共交通サービスの充実に努めます。また鉄道駅を含む周辺一帯においては、すべての人が移動しやすい歩道整備を図るとともに、駅舎へのエレベーター設置など、これら一体となった移動経路のバリアフリー化を進めます。

③ にぎわいと魅力あるまちづくり

本市の中心市街地となっている JR 香芝駅及び近鉄下田駅周辺、市役所などの公共施設が集積する都市拠点と近鉄五位堂駅周辺のにぎわい拠点のふたつの拠点を一体とする本地区は、行政、文化、福祉、医療、商業などの都市としての中核機能を担うとともに、市の発展の方向性を示す役割も担っています。このため、市内外から訪れるすべての人が安心して活動できる「交流・にぎわい拠点」としてふさわしい個性豊かで魅力あるまちづくりを進めます。